

観光宣伝隊を結成し、関西和会総会で観光PR

11月27日(日)、関西地域在住の和歌山出身者で構成される県人会「関西和会」の総会が、大阪市内のホテルで開催されました。今回、和歌山古墳祭の第27代卑弥呼および奉納の舞保存会で構成された「観光宣伝隊」による「卑弥呼の舞」および「奉納の舞」を披露し、和歌山古墳祭のPRを行いました。また、町の伝統工芸である、「みかわ手漉き和紙」の体験ブースを会場内に設置し、多くの会員の皆さんにその魅力を肌で感じていただき、郷土色豊かな交流会とすることができました。

今後も故郷の応援団である関西和会とより良い関係を築き上げたいと思います。



和歌山古墳祭の「奉納の舞」

都市と農村の交流 ～「カッポ飯&こんにゃくづくり体験」～

12月4日(日)、上和仁地区で都市部にお住まいの人を対象に「カッポ飯&こんにゃくづくり体験」が開催されました。

カッポ飯づくり体験は有働淳二さん(上和仁)に、こんにゃくづくり体験は川口千鶴子さん(上岩)に指導していただきました。和歌山の竹を使ってご飯を炊き、ご飯ができるまでは、竹で箸づくり体験もしました。また、こんにゃく芋を練り、柚子の皮を入れた柚子風味のこんにゃくは、もちっとした食感とこんにゃく本来の香りがしました。

昼食には、竹の風味が詰まったカッポ飯と煮しめ、だんご汁、刺身こんにゃくなどをいただきました。

今回は、グリーン・ツーリズムの実践者育成を目的として、町内でグリーン・ツーリズムに興味をお持ちの人に運営スタッフとして参加をしていただきました。

今後も和歌山固有の地域資源を活用して、地域の人と都市部にお住まいの人が交流を行い、和歌山のグリーン・ツーリズムを展開していきます。



こんにゃくづくり体験



テーブルは、田舎料理でいっぱいです。

経済産業大臣賞受賞 ～丸美屋「肥後の黒豆おこし」～

11月24日(木)全国商工会連合会の2011年度「むらおこし特産品コンテスト」が行われ、丸美屋の「肥後の黒豆おこし」がグランプリの経済産業大臣賞に選ばれました。

県産黒大豆(クロダマル)を水あめで固め、手軽に食べられるように作られています。「昔ながらの菓子だが、高級感ある食材をぎっしり使い、満足感、お徳感を感じる」と評価され、今回の受賞となりました。

熊本県の特産物として、広がっていくことを期待します。



肥後の黒豆おこし

県公共関与産業廃棄物管理型最終処分場計画基本協定に調印

11月25日(金)、県が南関町下坂下に建設を計画している公共関与産業廃棄物管理型最終処分場について、町と県、処分場を運営する県環境整備事業団が基本協定を結びました。

協定書には、三者が地域住民の安全を確保するため相互に連携することや、県が処分場の廃止後も将来にわたって最終的な責任を負うことなどを盛り込んでいます。

調印式には蒲島知事と事業団理事長の村田副知事、坂梨町長が出席。建設予定地の下流域に位置する内田と長小田の両区長も立ち会いました。

調印後、坂梨町長は「施設の安全性や既存道路など周辺整備を強く要望していく。県は地元の方々の思いを真摯に受け止め、強い覚悟を持って欲しい」と語りました。

基本計画では、施設は敷地面積約12ヘクタール、埋め立て容量42万立方メートル。処理水を川へ放流しない「クローズド無放流型」で、平成25年度中の供用開始を目指しています。



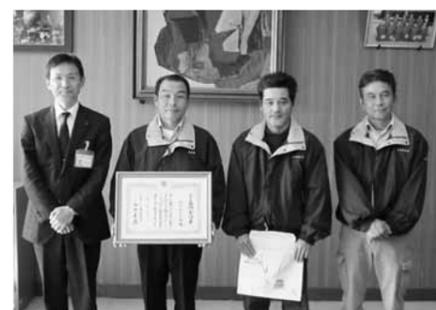
左から蒲島知事、坂梨町長、村田副知事

「小さな親切」実行章受賞 ～みかわAG会～

11月25日(金)、みかわAG会(会長武田祐誠)が公益社団法人「小さな親切」運動本部から表彰を受け、このたび伝達式が行われました。

長年、敬老の日になんだ9月にボランティア事業の一環として、三加和温泉のお湯と手作り弁当を同居老人宅へ宅配を行っており、その行動が「親切な行動」ということで表彰を受けられました。

※小さな親切運動…『できる親切はみんなでしよう それが社会の習慣となるように』をスローガンに運動を推進。運動を通して、思いやり溢れる、心のかよう社会づくりを目指す運動。



表彰を受けたみかわAG会

和歌山の魅力いっぱいの日帰り体験バスツアー

11月20日(日)、和歌山の歴史、文化などの観光資源に触れていただくことで和歌山の魅力を向上させることを目的として、「大田黒浩一と行く！和歌山良かところ探検隊！！」と題し、日帰り体験バスツアーが開催されました。バスガイドは、RKKテレビやラジオでお馴染みの大田黒浩一さんです。

定員40人で参加者を募集したところ、熊本市内を中心に県内外からたくさんの方の参加申し込みがあり、すぐに募集を締め切りました。

ツアーでは、午前中、江田船山古墳、肥後民家村を和歌山観光案内の会に案内していただき、昼食に緑彩館で販売している八つのお神様のご利益をつめた弁当を食べていただきました。

また、午後からは、戦国わらじの会とみかわ手漉き和紙保存会の指導のもと、わらじづくり体験と手漉き和紙体験をしていただき、美肌の湯として人気のある三加和温泉で一日の疲れを癒していただきました。お土産には、八つのお神様のお守りを持ち帰りいただきました。

このツアーで、和歌山固有の観光資源や豊かな自然、地元の方の「おもてなし」など、和歌山の魅力を体感していただき、参加者からのアンケートでは、「また、遊びに来ます」「感激しました」といった感想をいただくことができました。

なお、ツアーの内容や参加者の感想などについては、町ホームページ上で紹介しますので、ご覧ください。



手漉き和紙体験



わらじづくり体験